

★ 京浜多摩和僑会の発足

京浜多摩和僑会は、「日本のモノづくりの伝統を引き継ぎ、その存続と進化をアジアとの共生で切り拓く」をミッションに「羽田空港再国際化を契機にアジアや世界で活躍する和僑と日本発で活躍するアジア起業家のビジネス出島（故郷）」をビジョンに掲げて、京浜多摩和僑会発起人代表塩崎 勉氏（㈱和興計測社長、前川崎市工業団体連合会会長）が7月8日に設立の宣誓をいたしました。

★発足に向けてのシンポジウム

7月8日は、「アジアで活躍する起業家人材の育成・活用で川崎・神奈川を世界のイノベーション拠点に！」（NPO法人アジア起業家村推進機構・㈱神奈川産業振興センター主催）と題するシンポジウムを「かながわサイエンスパーク」（アジアで初めて開設されたサイエンスパーク）で開催し、その総括・提言を受けた形で、設立宣誓が行われました。第一号のプロジェクトとしては、香港プラスワンとして、和僑会の会員と川崎市アジア起業家村のアジア起業家、そして京浜多摩地区の製造業の方々とが手を組み、香港の金融センターとしてのメリットを生かしながら、京浜多摩地区と香港・華南製造業との交流・提携による経済の発展と環境問題の解決、そして京浜多摩地区の中小企業の出城「ベトナムテクノセンターづくり」を目指していきます。

シンポジウムは、1部、2部、3部と別れて開催されました。神奈川県副知事、川崎市市長、川崎商工会議所会頭、㈱神奈川産業振興センター理事長、NPO法人アジア起業家村推進機構理事長、㈱大田区産業振興協会専務理事、香港貿易発展局日本首席代表、香港和僑会理事、東京和僑会事務局長の皆様にご臨席をいただきました。出席者は、延べ150名の出席を賜ることができました。

当日は、聴講者に一人もお眠りになっている方がいなかったほど、会場の皆さんに真剣さと熱気が溢れました。山口務NPO法人アジア起業家村推進機構理事長が「女性起業家振興をアジア起業家にプラスして政策に掲げなければならなかった」と発言されたように、女性起業家のお二人（日本に派遣労働という概念を打ち立て、業界一位の売り上げを誇るテンプスタッフ㈱篠原欣子社長、日本の介護福祉事業の第一人者の片山ます江社会福祉法人伸こう福祉会副理事長（元ベネッセケア取締役、前ワタミの介護副社長）は、当たり前のようにアジアの方と共に歩まれ、助けられ、あるいは、失敗を乗り越えて、アジアに進出されるなど、事業を伸ばされていました。

まさに日本型経営のパラダイムを破るような経営に見受けられました。聴講者に知恵と勇気を与えることができました。

引き続き開催された2部では、アジア起業家村のベトナム企業㈱VTMのホーフィークーン社長が、「香港で創業した香港和僑会理事の堀明則社長（香港ドライブ・ネクストグローバル㈱）の創業の経験は日本からの入出国で見ると逆だが、異文化の中で創業したという意味では全く同じ経験だ」という発言でお互いにその苦労がわかりあえるという経験の共有性と異文化経験の中にマーケットを見る目が育つということがある。また、お互いの苦労が分かり合える同士でもあり、ライバルでもあるというような連携が生まれました。

また、日本の地元の中小製造業の方々がアジアマーケットに地元中小企業の連合で挑みたいという希望の光も見えました。

そして、3部の交流会では、古田茂美コーディネーターの総括提言を受けて、地元の中小企業が連携して、「京浜多摩和僑会」をスタートし、アジアマーケットに挑むことになりました。

今後、地域の製造業の生き残りをかけて、アジア起業家村のアジア各地の起業家や世界の和僑会をパイプ役、介添役として連携し、アジアマーケットに挑むことになりました。

★今までの経緯

昨年の5月に、海援隊21という異業種交流グループで今まで海外進出の支援をしてきた団体にミッション団を組んで、香港でのプレ世界和僑大会に出席しました。

その後、どのようなことで、世界の和僑会とともに、地域に貢献しながら私たちも進化できるかということをおこなったような勉強会を開催しながら、探って参りました。

その結果として、厳しい経営環境下、生き残りをかける京浜多摩地区の地元中小製造業とアジア起業家村入居企業、そしてアジアで活躍する日本人起業家「和僑」を結び、交流会を開催することで成果が出てまいりましたので、ここから出てきました成果を突き詰めてミッションにして、京浜多摩和華僑会を設立することになりました。

以下は、その勉強会の例です。

今年の4月には、アジア起業家村入居企業第一号の㈱VTMのホーフュークーン社長のホーチミンでの日本語の恩師であるドンズー日本語学校のホーエ校長先生を招き、川崎市工業団体連合会のご協力を得て「ベトナムテクノセンターづくりやベトナム人の製造業での人材育成」の勉強会を開催いたしました。5月には、香港和僑会副会長の川副哲氏をお呼びして、川崎北工業会の㈱リード技研（小川登社長）で「グローバル受発注勉強会」を開催、6月には、同じテーマで台湾和僑会会長の山田鶴嘉氏をお呼びして、大田区のセントラル技研工業㈱（藤邨克之社長）の工場視察会を開催しております。実際に、現場視察では、受発注の成果も誕生してきております。



4月ベトナムドンズー日本語学校
ホーエ校長を囲んでの勉強会



5月現場視察勉強会